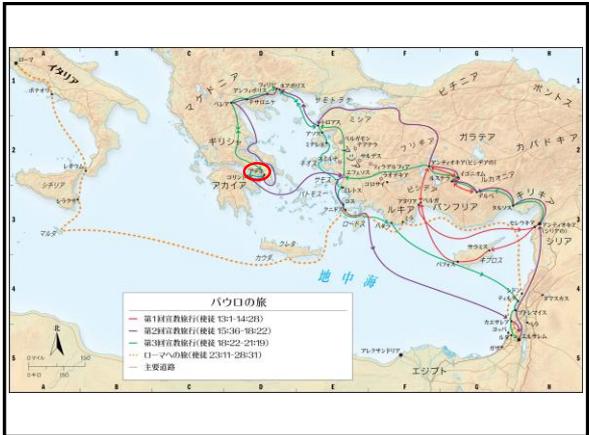


「学校では教えない大切なこと」

使徒の働き 17章22-34節

1



2

パウロは、アレオパゴスの中央に立って言った。「アテネの人たち。あなたがたは、あらゆる点で宗教心にあつい方々だと、私は見ております。道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを教えましょう。この世界とその中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。また、何か足りないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。使徒17:22-25

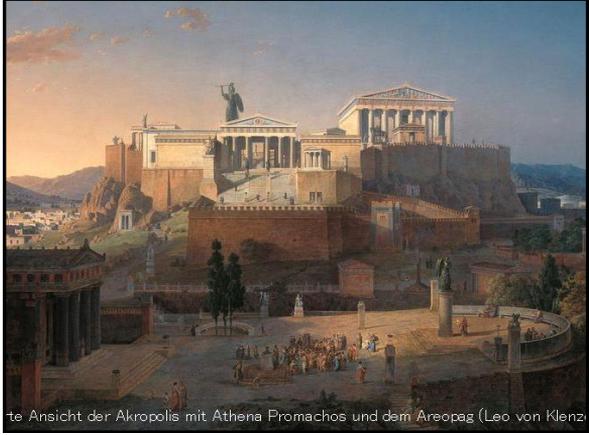
3

神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。あなたがたのうちの詩人たちも、『私たちもまた、その子孫である』と言ったとおりです。そのように私たちは神の子孫ですから、神である方を金や銀や石、人間の技術や考えで造ったものと同じであると、考えるべきではありません。使徒17:26-29

4

神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。なぜなら、神は日を定めて、お立てになった一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになったのです。」死者の復活のことを聞くと、ある人たちはあざ笑ったが、ほかの人たちは「そのことについては、もう一度聞くことにしよう」と言った。こうして、パウロは彼らの中から出て行った。ある人々は彼につき従い、信仰に入った。その中には、アレオパゴスの裁判官ディオヌシオ、ダマリスという名の女の人、そのほかの人たちもいた。使徒17:30-34

5



6

人を神とする教育(文化)

- アテネの町は偶像でいっぱいであった 17:16
- 文化の中心地(ギリシャ語が共通語)
- 当時最高級の建造物が立ち並んでいた
- 神々の「お世話」、管理(利益)をしていた。
- パウロは神は神殿に住まない。世話をしてもらう必要もない。(私たちが生かされている)
- 神の内に、住まわせてもらい、すべてのものを受けている。

7

人を神とする教育(文化)

- 神を恐れることが知恵と知識の初め。箴1:7
- 神を恐れないことが知恵と知識の土台？
- 人間が神(以上に)なる(神はいない)？
- 神が人間になられた
- 今日の神々(神殿)、科学、哲学、技術、心理学、富、地位、占い、健康、、、(神々の奴隷)
- 自然、命、学問、科学、医学、健康、技術、、偶然ではなく神からのプレゼント

8

接点を見つけて伝道

- あなたがたの詩人(科学者)の言葉
- 「これは神のわざとしか言えない。」山中教授
- 天地万物なにもかも、**ごつど**のつくらざるものなし。子供のときより**ごつど**のありがたきをしり、**ごつど**のころにしたがふべきものなり。(日々の教え)ごつど=God=(聖書の)神
福沢諭吉
- 「だから私は、神を信じる」加藤一二三

9

知らないで拝んでいる

- 現代の神々 **ヒ°リ**3:19、1ヨハ2:15-17
- 富、プライド、伝統、宗教、自分
- 知らないから拝んでいない
- それでも、**ご自分を証し**しないでおられたのではありません。あなたがたに**天からの雨と実りの季節**を与え、**食物と喜び**であなたがたの心を満たすなど、**恵み**を施しておられたのです。使徒14:17

10

今は悔い改めを命じる

- 無知の時代を見過ごされた 使徒17:31
- 神は、過ぎ去った時代には、あらゆる国の人々がそれぞれ自分の道を歩むままにしておられました。使徒14:16
- 比較。放蕩息子と父
- 今は、悔い改めを命じている(帰って来なさい)
- 十字架と復活(神の愛)を知って
- 悔い改めよ。神の国が近づいたから(入れるよ)

11

今は悔い改めを命じる

- 神は愛によってこの世をスタートした。今は欲によって動いている。
- 天国には入りたい(面倒な信仰や神はいらない)。あなたの国が天国(神の国)でなければならない。
- あなたの心を天国にしなさい 天国=神の国=神の支配
- この乱れた、狂った、ずれた世の中に支配からの解放
- この世は(私たちも)、人間が作ったさまざまな神話で形作られて(ゆがめられて)しまっている。
- 人間は神の似姿に造られた。神の国で神といっしょに永遠に生きるように造られた。
- 聖書は神の愛の告白、それに応えて、私たちは信仰告白(愛の誓い)をする。一緒に生きる。

12